



守屋前次官を逮捕

過剰接待に収賄容疑

「防衛利権」癒着解明へ 便宜供与が焦点

山田洋行事件で
東京地検特捜部

東京地検特捜部は二十八日、防衛商社「山田洋行」元専務、宮崎元伸容疑者(69)から装備品納入で有利な取り計らいを期待された上で、過剰なゴルフ接待などを受けているとして、収賄容疑で前防衛事務次官、守屋武昌容疑者(63)と東京都新宿区を逮捕した。

特捜部は航空自衛隊次期輸送機(CX)のエンジン発注をめぐる便宜供与の有無など、巨額の防衛利権をめぐる疑惑の全容解明を目指す。

守屋容疑者は、宮崎容疑者が山田洋行を退社し、防衛商社「日本ミライズ」設立後の今年四月まで三百回以上、ゴルフ接待を受けていたとされる。中には、北海道や九州などへ宮崎容疑者側が

全額負担する丸抱えのゴルフ旅行もあり、収賄罪の公訴時効に掛からない五年間に限っても接待の総額は少なくとも五百万円に上るといわれる。守屋容疑者はこうしたゴルフ接待にたびたび妻も同伴。夫婦でゴルフセットを贈られたこともあるほか、還暦祝いとして現金二十万円を受領していた。

CXエンジンに関する米国メーカーの販売代理権は今年七月、山田洋行から日本ミライズに移った当時、省内でミライズ側に有利な発言を繰り返したとされる。



自宅を出てタクシーに乗り込んだ守屋前防衛事務次官＝28日午前10時すぎ

守屋前次官をめぐる構図

